

2019/3/18

神戸大学機械クラブ主催
第7回基幹座談会「学生時代と社会人生活を語る座談会」開催の趣旨
(2019年5月18日(土))

座談会部会長 山岡高士

実行委員長 玉屋 登

大正10年12月、神戸高等工業学校が、建築科・電気科・機械科の3学科でもって国立学校の一校として設立され、大正14年11月 同窓会が発足しました。初代会長は廣田精一初代校長で、構成は木南会(建築)、竹水会(電気)、機械クラブ(機械)でした。その後1949年(昭和24年)に神戸大学が国立大学の一つとして発足し、工学部機械工学科が開設されました。神戸高等工業学校から今日の工学部・大学院工学研究科に至る間の卒業生から構成される現工学振興会において、機械クラブの会員を構成する卒業生は延べ8,000名を超える規模となっております。機械クラブは、**会員相互の親睦**をはかり、**技術者の人格向上**に寄与するとともに、**母校の発展**を支援することを目的としています。

本会は、**会員相互の親睦**をはかるために、機関誌の発行(年数回)、講演会、見学会、会員親睦会および座談会の開催、**母校の発展**を支援するために、功績のあった教員および優秀な学生の表彰ならびに学生の自主活動への支援を行う事業を行っております。

現在、大学になってからの卒業生、特に中年から若年層の卒業生の同窓会活動に対する参加が、極めて希薄であることを改善する必要に迫られています。その対応策の一つとして、2014年(平成26年)に、「座談会提案書」(末尾注参照)に示されているような趣旨で、年代をまたいだ同窓生同士の交流の輪を広げるための企画を立案し、実施する座談会部会が設置されました。座談会部会は、現在までに、

- ① 同年代はもとより、年代をまたいだ同窓生同士の交流の輪を広げ、またその親密度を高め、絆を強めるための「**基幹座談会**」と、
- ② これから、エンジニアとして世に出ようとしている若者を対象に、卒業生諸氏が、学生時代に学んだ機械工学の知識が、就職した会社の各種業務において如何に役立ったかの成功例、失敗例などの話をし、若者からの質問を受け、意見交換をするなどの学生諸子と卒業生との交流の場として「**機械技術者生活を語る座談会**」

の開催を行っています。これら両座談会は、幅広く同窓生間に多くの知己を生み出し、互いに啓発し合って、同窓生各位が素晴らしい機械技術者生活を送るとともに、また同時に同窓会が更に活性化することを願って実施しております。「**基幹座談会**」は回を重ねるごとに、当初の目標である年代をまたぐ同窓生同士の交流の輪が徐々に広がり親密度も高まって来ておりますが、なかなか出席者同士で会話・懇談を行う時間が取れなく、出席者の皆様の経験をもとに意見交換や議論がなされず、座談会と言う名に相応しい形ではないのではないとの意見もありました。一方、「**機械技術者生活を語る座談会**」については、卒業生の経験を現役学生へ伝えることができ、現役学生へのアンケートにおいても是非継続して欲しい

など、好評を得ており、学生諸君が社会に出るまでにどのような勉強・研究・経験をしてあげばよいかを考えてもらえる機会を与えることができていると考えております。

以下卒業生同士の交流を図るための場である「**基幹座談会**」について述べます。

過去の「**基幹座談会**」は学生時代の思い出を中心とした懇談を目指した会でしたが、これまでの出席者の発言内容を考えますと、特に最近においては、学生時代の思い出よりも、社会人生活において学生時代の勉学（基礎科目の学力）がどのように役立ったか、などの話題が多くなっている状況です。このような状況を踏まえて、前回の第6回基幹座談会では、従来よりも話題の幅を広げて「学生時代と社会人生活を語る座談会」として、学生時代の授業や研究活動が社会人生活において、どのような効果を発揮したかなどの意見交換を主体として開催しました。その結果、学生時代の勉学がどのような形で社会生活に役立ったか、材力、機力、熱力、流力、加工などの基礎科目の重要性は言うまでもありませんが、これら以外の他の工学も、とても大切となり、更に部署によっては機械工学だけでなくいろんな授業科目にも興味を持つほうが良いと学生に直接伝えること、また卒業生間でフリーな意見を述べ合えるような座談会の名に相応しい意見・話題の交換を行える場を設けるように工夫すべきといった意見が出されました。このようなことから、学生への直接的働きかけは、それを目指して別途設置されている「**機械技術者生活を語る座談会**」に任せるとして、今回の第7回基幹座談会においては前回までの「年代をまたぐ同窓生同士の交流」に関する懇談に加えて、出席者同士が共感し、共有化していけるような話題も取り入れる計画とします。

即ち、「**実業界における諸体験に基づく機械工学の応用経験**」を話題とし、出席者の皆様が社会で実際に経験した機械工学科の基礎科目とされる材料力学、機械力学、流体力学、熱力学、機械加工学、機械設計、自動制御等はもとより、それら以外の、当時機械工学科ではカリキュラムとして扱われなかった具体的な事例（例えばトラブル時の対応、安全対策、環境問題他）についての話題の交換もいたします。さらに話題の範囲をこれらに限定するのではなく、出席者の皆様が関心を持っておられるこれら以外の話題に関しても、ざっくばらんで楽しい意見・話題交換を行って戴ければと考えています。

この座談会は、機械クラブから会員に一般参加募集を案内し、卒業後間もない同窓の方々や学生にもお知らせしますので、希望すれば学生を含め会員のどなたでも座談会の場を楽しむことが可能となります。また、それらの様子は機械クラブのホームページ <http://home.kobe-u.com/ktcm/> に掲載され、機械クラブ会員に広く知らされます。

このような話題交換により機械クラブの出席者、参加者、並びに機械クラブ役員や座談会部会員が、知己となり、お互いの絆を深めることができることを期待するところです。

以上

注：「神戸大学工学部機械系工学科の思い出を語る座談会提案書 2018.3.18」は機械クラブホームページ <http://home.kobe-u.com/ktcm/> Contents 欄の「座談会(寄稿文)」をクリックし、「機械クラブ座談会」のページで「座談会提案書」を閲覧ください。なお、過去6回の座談会の状況については同ページ「座談会(報告)」を閲覧ください。